

令和4年度なは市民協働大学だより



第2回講座 「子どもの居場所と地域づくり」

8月3日（水）にコロナ対策を行って、なは市民協働大学2回目講座を実施しました。
子どもの居場所と地域づくりをテーマに、那覇市社会福祉協議会の浦崎直己さんと上原梓さん、
那覇市保護管理課の平良優子さんが講義を行いました。



▲第2回講義の会場の様子。子どもの居場所の現状やボランティアについて学びました。



那覇市保護管理課講師：平良さん



那覇市社協講師：浦崎さんと上原さん

講師の那覇市社会福祉協議会の浦崎さんと上原さんは「子どもたちの健やかな成長には、地域で地域の子どもの育てるという考え方が必要です。多くの地域の方が見守ってくれるといいと思います」と地域全体で子育てをすることの大切さについてお話されました。また、本市保護管理課の平良さんは昨年度保護管理課が中心となって実施したコロナ禍での弁当配布事業について説明をした後、地域の方と企業・行政などの連携が大切との内容をお話されました。

受講生からは「子どもの居場所の活動を知ることができてよかった」「ボランティアに登録する！」などの感想が聞かれました。また「子どもたちが大人になって社会の一員として活躍するといったビジョンを描くことも大切なのは」など子どもの居場所のこれからの活動についてのやりとりもありました。

令和4年度なは市民協働大学（2回目） アンケート集計表

2022年8月3日実施

問1 今回の講座の1つ目のねらい「子どもの居場所の現状を知る」を達成できましたか。					
評価	できた	少しできた	あまりできなかった	全くできなかった	27
人数	19	6	2	0	

問2 今回の講座の2つ目のねらい「子どもの居場所づくりを通して、地域づくりについて学ぶ」を達成できましたか。					
評価	できた	少しできた	あまりできなかった	全くできなかった	27
人数	14	11	2	0	

問3 本日の講座の満足度を教えてください。					
評価	満足	やや満足	やや不満	不満	27
人数	18	7	2	0	

【受講生の声（抜粋）】

<子どもの居場所の現状について>

- 子どもの居場所という言葉は良く聞かすが、内容については知らない部分が多かった。具体的な取り組み、事例も含めて学びと気づきを得られた。
- 子どものことを支援している団体・企業が多くあり、繋がっているのだと知った。

<地域との関わり>

- 貧困問題、地域づくりに関して誤解している部分が多くあり、本日参加して話を聞いてよかったです。

<ボランティアについて>

- ボランティアと居場所をマッチングする際、ニーズに合わない場合は断る心構えが必要であり、何でも受け入れるだけが良いことではないと改めて思いました。
- 日本はボランティア人口が少ないというお話があり、今までボランティアに興味はありましたが、参加できなかったので、参加したいと思いました。

なは市民協働大学 3 回目：令和4年9月21日（水）19時～21時

なは市民協働大学第4回のご案内

1. 日 時：令和4年10月15日（土）10時～12時30分
※受付は9時30分から行います。
2. 集合場所：繁多川県営高層住宅 ※公共交通機関をご利用ください
3. フィールドワーク地域： 繁多川1丁目
4. 講師：繁多川公民館（南 信乃介 館長）
地域包括支援センター繁多川（濱川 尚志 所長）



<お問合せ> 担当：小波津 與那覇 渡嘉敷

電話：098-861-502 メール：C-KATU005@city.naha.lg.jp